

ちとせクリニック 訪問リハビリテーション



新卒からできる！訪問リハビリのお仕事

充実した研修制度あり

**臨床経験10年以上の
管理者が在籍**

2～8年目のセラピストも在籍
しており、知識・経験を仲間と
共有できる環境です！



Q1 訪問リハビリってどうやって学ぶの？

訪問リハビリが初めてというセラピストがほとんどです。
安心して仕事を学べるよう、最初の3～6ヶ月間は、先輩セラピストと一緒に訪問していきます。訪問リハビリに必要な知識、技能、技術、態度などを計画的に習得できる研修システムです。

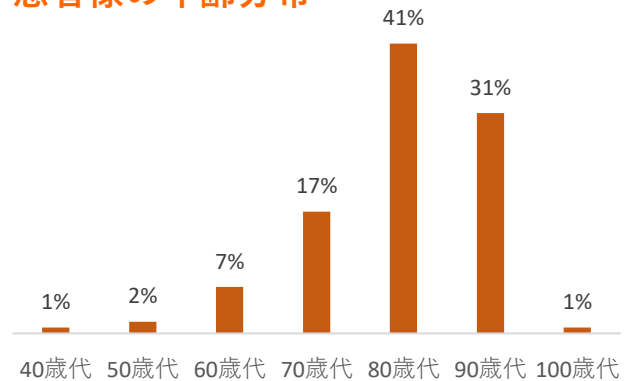


Q2 どんな患者様のところへ訪問しているの？

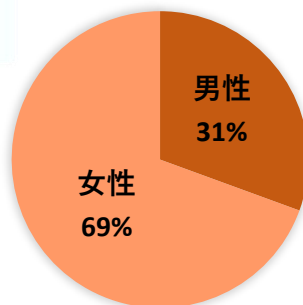
訪問エリア



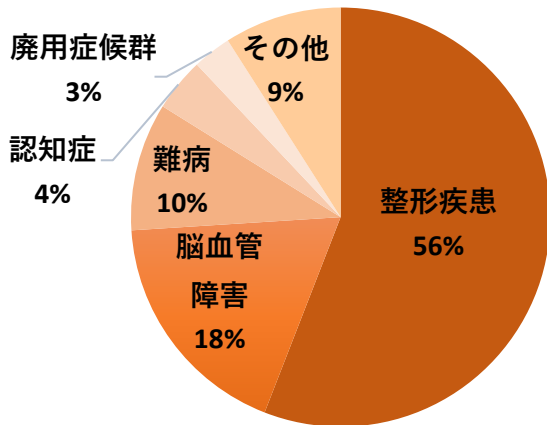
患者様の年齢分布



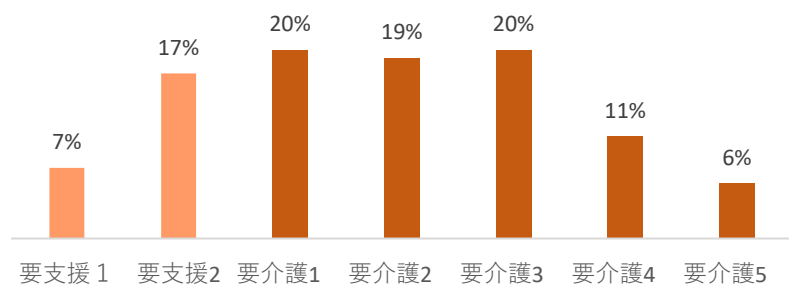
患者様の男女比



患者様の疾患の割合



患者様の介護度



Q3 訪問リハビリに必要なものは？

訪問リハビリでは、電動自転車を使って訪問先へ移動します。レインコートと携帯電話は1人1つずつ用意し、安心・安全な訪問が可能です。バイタルセットには、血圧計・聴診器・パルスオキシメーター・体温計・メジャー・打腱器・ゴニオメーターを用意しており、充実した検査・評価を行うことができます。また、事務所にはデスクトップのパソコンが8台あり、電子カルテの入力や必要書類の作成など、事務作業が能率的に行えます。またiPadもあり、訪問の移動の合間にカルテ入力をすることも可能です。



徒手筋力測定器を使用し、患者様の筋力を定量的に評価しています。目標のために必要な動作の獲得に向けて身体機能を具体的に把握することが可能です。

ちとせクリニック 訪問リハビリテーション



永研会は、かかわる全ての「人」を豊かにします
～あたたかいを考える～

01 業務の流れ

8時30分 朝礼

着替え、整理整頓、カルテ内容の確認など、リハビリの準備をします。

9時00分 午前診療開始

1人1人の患者様の生活に寄り添ったリハビリを実践。リハビリの時間は、患者様1人あたり40分～60分で、焦らずゆっくりと評価や治療を行うことができます。

12時10分 昼休み

13時20分 午後診療開始

17時30分 終礼



02 研修制度について

永研会では新卒の1年間はもちろん、在籍するセラピスト全員が一人前の理学療法士になれるよう、卒後教育に励んでいます。

新人研修(座学・実技練習)

入職後1週間は整形・中枢・呼吸器疾患などに対する座学・実技を学びます。実際に患者様のリハビリを行う前の心構えや、知識・技術の準備ができます。

1日目	リハビリテーション概論
2日目	肩関節疾患・リスク管理
3日目	歩行・下肢に対するリハビリ
4日目	体幹に対するリハビリ
5日目	呼吸・中枢疾患のリハビリ



ケーススタディ(症例発表)

症例発表を通して、理学療法の関わり方・考え方を3ステップに分けて段階的に習得できます。患者様の「できるようになりたいこと」に寄り添っているかを中心に評価シートを用いて、先輩セラピスト全員で指導していきます。

ステップ1(5～7月)

ステップ2(8～11月)

ステップ3(12～3月)

目標設定

プログラム立案

効果判定・再評価

カンファレンス・勉強会

業務後に定期的にカンファレンスや勉強会を行っています。
セラピスト同士で意見交換をし、担当患者様について相談ができる環境です。
実技練習では、検査方法や動作観察をはじめ、筋膜及び筋へのアプローチや関節モビライゼーション、PNF等の治療手技の勉強会を毎月実施しています。

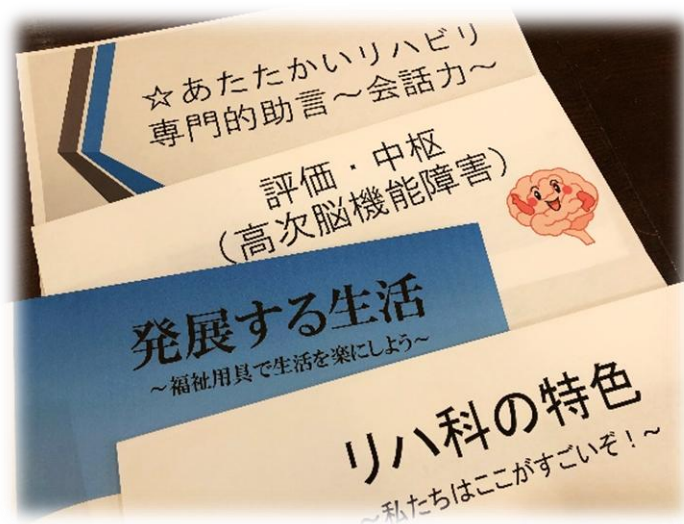


特色

★あたたかいリハビリ★

- ①会話力(問診、日常会話、専門的な助言、地域連携など)
- ②評価(疼痛の原因追求、姿勢・動作分析、各種評価スケールなど)
- ③発展する生活(多種多様な治療方法、ADL動作、福祉用具など)

セラピスト全員で特色を強化できるように、
年間を通して勉強会や実技研修を実施しています。



03 スタッフインタビュー

Q1 当院を志望した理由を教えてください。

「患者様に向き合うスタッフが生き生きとしていたからです。いくつか病院の見学をさせていただきましたが、雰囲気が一番あたたかかったことを覚えています。」

Q2 業務内容を教えてください。

「利用者様のご自宅へ訪問し、リハビリを実施します。利用者様の状況やご希望を踏まえたリハビリ計画の作成、カルテ入力を行います。」

Q3 新人研修はどうでしたか？

「約2週間で実技やカルテ業務をしっかり指導してもらいました。また、疾患別・筋肉別のアプローチの仕方、症状が出るメカニズムを教えてください、理解が深まりました。」

「研修期間以降も、確認したいことや質問に対して先輩が丁寧に指導してくれるので、ありがたかったです。」



Q4 働いていてやりがいを感じる時と大変な時は？

「自分の立てた仮説とリハビリ内容によって利用者様の生活が改善した時が一番やりがいを感じます。それまで勉強してきたことや先輩スタッフの助言が活きた瞬間が嬉しいですね。大変なのは、夏の猛暑と冬の寒さ、大雨などの悪天候の中の移動です。また、利用者様の意見や要望を受けとめつつ、日常生活動作を改善するためにやってほしいポイントをおさえることが難しいですが、やりがいでもあります。」

Q5 当院の訪問リハビリテーションの魅力は？

「チームワークと雰囲気のよさ、そして成長できることです。」

Q1 当院を志望した理由を教えてください。

「実習や見学をした際、スタッフ同士の仲の良さが印象的だったことと、教育プログラムが充実していたからです。」

Q2 業務内容を教えてください。

「2年目の理学療法士です。1日平均して6～7件程、訪問しています。疾患や利用者様によって変わりますが、徒手・運動療法、歩行訓練、バランス・筋力・柔軟性訓練、ADL/IADL訓練を行っています。事務所に戻ってからカルテ入力をしています。」

Q3 新人研修はどうでしたか？

「上肢や体幹、下肢の研修が一通りあり、実技をマンツーマンで指導してもらいました。またケーススタディを通じて、先輩から様々な視点でのアドバイスをもらえました。他にも業務内容や訪問するにあたっての対応の仕方などを教わりました。」



「訪問するにあたって、不安が多かったですが、充実した教育プログラムがあったおかげで治療に専念できました。教わったことは今でも臨床の場で活きています。」

Q4 働いていてやりがいを感じる時と大変な時は？

「やりがいを感じるのは、利用者様やそのご家族様から“いつもありがとう、また来週よろしくね”と直接、感謝や労いの言葉をいただいた時です。それによって、また頑張ろうと思えることができます。大変だと感じるのは悪天候時の移動です。安全を第一に考えています。」

Q5 当院の訪問リハビリテーションの魅力は？

「スタッフ全員があたたかいを考えることができる場所だと思います。
利用者様に対してはもちろんのこと、スタッフ間の仲の良さが魅力だと思います。」

04 Top Message

身体機能の改善だけではなく、1人1人の生活に沿って「その人らしく生活できる」ように関わっていくリハビリを提供しています。

困っている生活動作やできるようになりたいことに応じたリハビリを提供できるよう、研修・勉強会・カンファレンスを通して新卒でも初めての訪問リハビリでも安心して従事できる環境を整えています。

理学療法士として一緒に、目の前の人の為に考えて笑顔にできるように仕事をしていきましょう！



理学療法士 佐瀬 正廣

お問い合わせ・ご応募お待ちしております

医療法人社団 永研会

ちとせクリニック 訪問リハビリテーション

所在地

東京都調布市仙川町1-10-15

アーバンハイツ仙川B-203

連絡先

03-5315-5111

採用担当

佐瀬



ホームページはこちらから <https://chitoseclinic.jp/>

